

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月13日

上場取引所 大

上場会社名 いであ株式会社

コード番号 9768 URL <http://ideacon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 田畑 日出男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 斎藤 博幸

TEL 03-4544-7600

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年12月期第2四半期 | 10,428 | 14.7 | 1,592 | 165.5 | 1,593 | 168.8 | 1,314 | 308.2 |
| 23年12月期第2四半期 | 9,089 | △16.3 | 600 | △65.4 | 592 | △65.5 | 322 | △71.7 |

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 1,341百万円 (348.8%) 23年12月期第2四半期 298百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年12月期第2四半期 | 184.15 | — |
| 23年12月期第2四半期 | 45.11 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年12月期第2四半期 | 19,082 | 10,885 | 57.0 | 1,524.60 |
| 23年12月期 | 19,895 | 9,616 | 48.3 | 1,346.77 |

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 10,885百万円 23年12月期 9,616百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年12月期 | — | — | — | 10.00 | 10.00 |
| 24年12月期 | — | — | — | — | — |
| 24年12月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 15,000 | 16.8 | 450 | — | 450 | — | 350 | — | 49.02 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 第2四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年12月期2Q | 7,499,025 株 | 23年12月期 | 7,499,025 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年12月期2Q | 358,824 株 | 23年12月期 | 358,824 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年12月期2Q | 7,140,201 株 | 23年12月期2Q | 7,140,365 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-------------------------------------|----------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報..... | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報..... | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報..... | 4 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動..... | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用..... | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示..... | 4 |
| (4) 追加情報..... | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 4 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表..... | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書..... | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間..... | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間..... | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書..... | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記..... | 11 |
| (5) セグメント情報等..... | 11 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... | 12 |
| (7) 重要な後発事象..... | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や復旧・復興事業の進捗に伴う公共投資の増加など内需の底堅い推移に支えられ緩やかな回復の動きがみられているものの、欧州政府債務危機を巡る不確実性の高まりや為替相場の動向など依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く市場環境は、価格競争の激化、契約形態の変化に伴う厳しい受注競争等が継続しており、官公庁からの受注依存度が高い当社グループとしては、依然として厳しい受注環境が続いているものの、当社業務内容と関連がある東日本大震災の復旧・復興関連事業に政府の大規模な予算が重点配分されております。

このような状況のなか、当社グループの安定的な経営を行うために、平成22年から平成24年までの中期経営計画を策定し、「イノベーションによる技術革新とムダ取り」を推進することにより、抜本的な経営改善・経営改革に取り組んでおります。また、東日本大震災の復旧・復興関連事業ではインフラ復旧のための企画提案・設計、放射性物質を含む有害化学物質の環境モニタリング、除染事業に関する計画・調査・管理、沿岸環境の改善など、特に当社の強みを活かせる事業に対して、優れた人材と技術を活用し積極的に貢献してまいりました。

当第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日～平成24年6月30日)における連結業績は、受注高88億2千7百万円(前年同四半期比26.5%増)、売上高は104億2千8百万円(前年同四半期比14.7%増)となり、通期予想売上高150億円の69.5%を計上いたしました。これは当社グループの売上高が第2四半期連結会計期間に集中する季節変動特性を有しているためであります。

また、売上高の増加、工程管理の徹底、作業効率の向上等による外注費及び販売費及び一般管理費の削減により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は15億9千2百万円(前年同四半期比165.5%増)、経常利益は15億9千3百万円(前年同四半期比168.8%増)、四半期純利益は13億1千4百万円(前年同四半期比308.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。(セグメント間取引を含んでおります。)

(環境コンサルタント事業)

同事業は、当社及び連結子会社3社(新日本環境調査(株)、沖縄環境調査(株)、東和環境科学(株))が行っている事業であり、環境アセスメント及び環境計画部門、環境生物部門、数値解析部門、調査部門、環境化学部門、気象・沿岸部門の6部門より構成されております。

売上高は69億5千7百万円(前年同四半期比18.9%増)、セグメント利益は9億9千7百万円(前年同四半期比149.7%増)となりました。

(建設コンサルタント事業)

同事業は、河川部門、水工部門、道路部門、橋梁部門の4部門より構成されています。

売上高は31億9千7百万円(前年同四半期比8.8%増)、セグメント利益は5億3千6百万円(前年同四半期比299.0%増)となりました。

(情報システム事業)

同事業は、システム開発及び画像解析等の事業を行っております。

売上高は2億3千2百万円(前年同四半期比7.0%増)、セグメント利益は1千7百万円(前年同四半期セグメント損失7百万円)となりました。

(不動産事業)

同事業は、赤坂のオフィスビル、旧本社ビル等の不動産賃貸事業を行っております。

売上高は8千4百万円(前年同四半期比 24.6%減)、セグメント利益は4千1百万円(前年同四半期比 41.0%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比べ8億1千2百万円減少し、190億8千2百万円となりました。流動資産につきましては、主に現金及び預金の増加16億9千7百万円、受取手形及び営業未収入金の減少9億3千2百万円、仕掛品の減少15億4千4百万円により、前連結会計年度末に比べ7億8千2百万円減少し、53億3千4百万円となりました。固定資産につきましては、主に建物の減少1億1千8百万円、有形固定資産その他の増加6千万円により、前連結会計年度末に比べ2千9百万円減少し、137億4千8百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比べ20億8千1百万円減少し、81億9千7百万円となりました。流動負債につきましては、主に支払手形及び営業未払金の減少1億6千万円、短期借入金の減少29億円により、前連結会計年度末に比べ16億9千万円減少し、37億1千9百万円となりました。固定負債につきましては、主に社債の減少1億8千9百万円、長期借入金の減少1億1千6百万円、退職給付引当金の減少7千3百万円により、前連結会計年度末に比べ3億9千1百万円減少し、44億7千8百万円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、主に利益剰余金の増加12億4千3百万円により、前連結会計年度末に比べ12億6千9百万円増加し、108億8千5百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ16億7千7百万円増加(前年同四半期は7億5千1百万円の増加)し、23億3千8百万円(前年同四半期は17億7千7百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は51億4千8百万円(前年同四半期は30億7千3百万円の収入)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益15億8千8百万円、非資金支出費用である減価償却費2億7千6百万円、売上債権の減少額9億3千2百万円、たな卸資産の減少額15億4千4百万円、仕入債務の減少額1億6千万円、前受金の増加額7億6千5百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は1億9千3百万円(前年同四半期は2億1千万円の支出)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1億4千6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は32億7千7百万円(前年同四半期は21億1千1百万円の支出)となりました。これは主として、短期借入金の純減少額29億円、長期借入金の返済による支出1億1千6百万円、社債の償還による支出1億8千9百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、前回（平成24年2月13日発表「平成23年12月期決算短信」に記載しております。）の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税の改正に伴い、当第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更による、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|--------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 661,080 | 2,358,455 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 1,272,002 | 339,644 |
| 仕掛品 | 3,868,800 | 2,323,999 |
| 繰延税金資産 | 133,474 | 138,718 |
| その他 | 182,372 | 173,868 |
| 貸倒引当金 | △773 | △197 |
| 流動資産合計 | 6,116,956 | 5,334,489 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 4,818,705 | 4,699,809 |
| 土地 | 6,916,452 | 6,916,452 |
| その他(純額) | 539,319 | 599,443 |
| 有形固定資産合計 | 12,274,477 | 12,215,706 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 124,574 | 114,294 |
| 投資有価証券 | 524,925 | 550,146 |
| 繰延税金資産 | 192,660 | 193,791 |
| その他 | 738,685 | 755,278 |
| 貸倒引当金 | △77,018 | △80,718 |
| 投資その他の資産合計 | 1,379,252 | 1,418,498 |
| 固定資産合計 | 13,778,304 | 13,748,499 |
| 資産合計 | 19,895,261 | 19,082,988 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 476,587 | 316,143 |
| 短期借入金 | 3,131,808 | 231,808 |
| 1年内償還予定の社債 | 378,000 | 378,000 |
| 未払法人税等 | 52,255 | 306,835 |
| 賞与引当金 | 57,263 | 60,108 |
| 受注損失引当金 | 65,728 | 61,678 |
| その他 | 1,248,302 | 2,364,436 |
| 流動負債合計 | 5,409,945 | 3,719,010 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,061,000 | 872,000 |
| 長期借入金 | 733,050 | 616,064 |
| 退職給付引当金 | 2,713,709 | 2,639,828 |
| 役員退職慰労引当金 | 239,666 | 230,082 |
| その他 | 121,675 | 120,078 |
| 固定負債合計 | 4,869,102 | 4,478,054 |
| 負債合計 | 10,279,047 | 8,197,065 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,173,236 | 3,173,236 |
| 資本剰余金 | 3,352,573 | 3,352,573 |
| 利益剰余金 | 3,278,853 | 4,522,324 |
| 自己株式 | △138,951 | △138,951 |
| 株主資本合計 | 9,665,712 | 10,909,183 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △48,130 | △22,944 |
| 為替換算調整勘定 | △1,368 | △316 |
| その他の包括利益累計額合計 | △49,499 | △23,260 |
| 純資産合計 | 9,616,213 | 10,885,923 |
| 負債純資産合計 | 19,895,261 | 19,082,988 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 9,089,943 | 10,428,923 |
| 売上原価 | 6,742,957 | 7,212,234 |
| 売上総利益 | 2,346,986 | 3,216,688 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,746,923 | 1,623,784 |
| 営業利益 | 600,062 | 1,592,903 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,760 | 1,277 |
| 受取配当金 | 2,167 | 4,000 |
| 受取保険金及び配当金 | 17,294 | 8,559 |
| 保険解約返戻金 | 20,751 | 6,413 |
| その他 | 10,236 | 11,574 |
| 営業外収益合計 | 52,210 | 31,824 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 26,616 | 25,023 |
| 社債発行費 | 14,039 | — |
| その他 | 18,799 | 6,356 |
| 営業外費用合計 | 59,455 | 31,379 |
| 経常利益 | 592,817 | 1,593,348 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 28,463 | — |
| 特別利益合計 | 28,463 | — |
| 特別損失 | | |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 3,700 |
| 投資有価証券売却損 | — | 1,621 |
| 投資有価証券評価損 | 31,336 | — |
| 特別損失合計 | 31,336 | 5,321 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 589,943 | 1,588,026 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 142,517 | 281,216 |
| 法人税等調整額 | 125,341 | △8,062 |
| 法人税等合計 | 267,858 | 273,153 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 322,084 | 1,314,872 |
| 四半期純利益 | 322,084 | 1,314,872 |

四半期連結包括利益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 322,084 | 1,314,872 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △23,387 | 25,186 |
| 為替換算調整勘定 | 131 | 1,052 |
| その他の包括利益合計 | △23,255 | 26,238 |
| 四半期包括利益 | 298,829 | 1,341,111 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 298,829 | 1,341,111 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日) |
|---------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 589,943 | 1,588,026 |
| 減価償却費 | 263,438 | 276,993 |
| 退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △255,386 | △83,465 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △1,721 | 2,844 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,928 | △5,277 |
| 支払利息 | 26,616 | 25,023 |
| 社債発行費 | 14,039 | — |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △28,463 | 1,621 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 31,336 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 924,143 | 932,358 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 1,620,212 | 1,544,800 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △142,350 | △160,444 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 333,981 | 765,466 |
| その他 | △133,900 | 317,749 |
| 小計 | 3,237,962 | 5,205,698 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,742 | 4,877 |
| 利息の支払額 | △27,849 | △27,537 |
| 法人税等の支払額 | △146,422 | △53,093 |
| 法人税等の還付額 | 6,462 | 18,926 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,073,895 | 5,148,870 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | — | △20,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △339,233 | △146,653 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △12,305 | △9,651 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △17,042 | △10,719 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 52,754 | 10,753 |
| 貸付けによる支出 | △24,000 | △6,000 |
| 貸付金の回収による収入 | 3,974 | 10,992 |
| その他 | 125,649 | △22,588 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △210,203 | △193,867 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △2,100,000 | △2,900,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △242,504 | △116,986 |
| 社債の発行による収入 | 485,258 | — |
| 社債の償還による支出 | △164,000 | △189,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △76 | — |
| 配当金の支払額 | △89,035 | △69,945 |
| その他の支出 | △1,597 | △1,597 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,111,954 | △3,277,528 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △543 | 204 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 751,193 | 1,677,679 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,025,813 | 661,080 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,777,006 | 2,338,759 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|---------------------|---------------------|--------------|-----------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 環境コン サルタン ト事業 | 建設コン サルタン ト事業 | 情報システ ム事業 | 不動産 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,852,270 | 2,938,108 | 216,887 | 82,678 | 9,089,943 | — | 9,089,943 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 619 | — | 150 | 29,634 | 30,404 | △30,404 | — |
| 計 | 5,852,890 | 2,938,108 | 217,037 | 112,312 | 9,120,347 | △30,404 | 9,089,943 |
| セグメント利益又は損失(△) | 399,252 | 134,408 | △7,030 | 70,960 | 597,590 | 2,471 | 600,062 |

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|---------------------|---------------------|--------------|-----------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 環境コン サルタン ト事業 | 建設コン サルタン ト事業 | 情報システ ム事業 | 不動産 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,949,040 | 3,192,453 | 232,333 | 55,095 | 10,428,923 | — | 10,428,923 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 8,073 | 5,320 | — | 29,634 | 43,027 | △43,027 | — |
| 計 | 6,957,113 | 3,197,773 | 232,333 | 84,730 | 10,471,950 | △43,027 | 10,428,923 |
| セグメント利益 | 997,130 | 536,325 | 17,290 | 41,890 | 1,592,636 | 266 | 1,592,903 |

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。